

古文書が語る信州秋山郷の原風景

—文政八年の「秋山様子書上帳」を読む—



黒駒太子の掛軸（提供：栄村教育委員会）

本書のあらまし

文政八年（一八二五）正月、高井郡箕作村（下水内郡柴村大字堺）の名主島田三左衛門は、中野代官所の矢嶋藤藏代官宛に、「秋山様子書上帳」（以下、「書上帳」と略す）と題した書面を提出した。この書面には、秋山で暮らす人たちの様子が詳述されている。じつは、この書面は三左衛門が矢嶋代官から秋山の「難渋（困窮）の訳」を問われたことへの返答書だった。僻地とみなされていた秋山は、箕作村本郷から遠く離れた枝村だった。

柴村箕作の島田汎家文書中に「御用留」（島田家五二七）がある。この「御用留」には、明和八年（一七七二）から天保一五年（一八四四）の間に、箕作村が幕府領陣屋とやり取りした文書六八点が収められている（三五、三六頁の表）。本書で取り上げた「書上帳」はその中の一点である。したがって、文政八年に書かれた「書上帳」を、天保一五年頃に書き写して「御用留」に収めたものと推察できる。

さて、「書上帳」のすべてを翻刻したのは、昭和三九年（一九六四）発刊の『柴村史堺編』に収められている江口善次氏によるものが嚆矢（最初）で、近年では、鈴木努氏が『島田汎家文書 秋山関係史料抄・その二』（二〇一〇年）で採録している。どちらも貴重な労作であるため、本書の翻刻はこの二つを参考にさせていただいた。但し、双方の誤読や誤植と認められる箇所は本書で訂正した。

目次

本書のあらまし

「書上帳」写真帖……………3

第1章 「書上帳」を翻刻する……………37

翻刻 凡例……………37

翻刻文……………37

第2章 「書上帳」を判読する……………55

読み下し及び解説 凡例……………55

判読文……………56

序 「立地と戸口」……………56

1 「環境と風土」……………57

2 「言語と風俗」……………58

3 「飢えを凌ぐ」……………61

4 「冬期の稼ぎ」……………62

5 「曲物と樽木」……………63

6 「家作と食物」……………63

7 「神仏の信心」……………65

8 「疱瘡と麻疹」……………66

9 「奥州への移住」……………67

10 「温泉の開発」……………68

11 「三左衛門の提言」……………69

第3章 「書上帳」を解説する……………75

一、三左衛門の文章を読み解く……………75

二、代官の返書と村人からの提言……………111

第4章 井出道貞と鈴木牧之のルポ……………134

一、井出道貞の「秋山」……………134

二、鈴木牧之の「秋山の古風」……………140

三、秋山の折袴師と引導掛軸……………155

第5章 奥信濃の諸村と秋山……………163

一、中村藩主岩城氏と秋山……………163

二、岩城氏が抱えた諸問題……………168

三、松井左太夫の「市川谷覚書」……………182

第6章 高野辰之の秋山探訪……………201

一、「信濃教育会雑誌」への投稿……………201

二、「秋山紀行」の本文を読む……………206

三、明治時代の秋山事情……………222

むすびにかえて

おもな参考文献(著書 論文)

「書上帳」を翻刻する

〈翻刻 凡例〉

- 1 當・餘・處・會・賣・儘・傳・躰などは、當・余・処・会・売・俣・伝・体を用いた。
- 2 変体仮名の里・以・多・祢・春は、平仮名に改めた。
- 3 異体字の卯・ホ（など）は、卯・等の常用漢字で表した。
- 4 合字の「𠂔」と類出する「而已」はそのままだ表した。
- 5 変体仮名の者・江・茂・与・而などは少し小さく表記した。
- 6 読み易くするため、所々に読点（、）や並列点（・）を付した。

文政八酉年正月

秋山様子書上帳

秋山村者信濃国高井郡箕作村枝郷二而、本郷今凡十里

を隔、辰巳之方二当り、村立有之、惣名秋山と唱候得共、大

秋山村・屋敷村・甘酒村・小赤沢村・上野原村・矢櫃村・和山

■編著者 樋口和雄 郷土史研究家

1950年木島平村生まれ。元長野県内の小中学校教員。元長野県立歴史館専門主事、文献史料課長（7年間出向勤務）。

『木島平村誌』『飯山市誌』『長野市誌』『長野県栄村誌』等でおもに近世編を分担執筆。

共著に『須坂・中野・飯山の歴史』（2012年 しなのき書房）等がある。

著書に『長坂織部の江戸日記』（2000年 信毎書籍出版）、『信州の江戸社会 一村や町の間模様一』（2002年 信濃毎日新聞社）、『北信州木島平の和算風景』（2012年 しなのき書房）、『明治三年の中野騒動記』（2019年ながのコロニー）等がある。

現在、木島平村ふるさと資料館長・文化財調査専門幹。高井地方史研究会副会長。信濃史学会会員。木島平村在住。

古文書が語る信州秋山郷の原風景 ～文政八年の「秋山様子書上帳」を読む～

2022年12月16日 第1刷発行

編著者 樋口和雄

発行者 木戸ひろし

発行元 ほおずき書籍株式会社

〒381-0012 長野市柳原2133-5

TEL (026) 244-0235代

FAX (026) 244-0210

URL <http://www.hoozuki.co.jp/>

発売元 株式会社星雲社（共同出版社・流通責任出版社）

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-30

TEL (03) 3868-3275

ISBN978-4-434-31391-2

- ・乱丁・落丁本は発行所までご送付ください。送料小社負担でお取り替えます。
- ・定価はカバーに表示してあります。
- ・本書の、購入者による私的使用以外を目的とする複製・電子複製及び第三者による同行為を固く禁じます。

©2022 by Kazuo Higuchi Printed in Japan